



スイスの都市

世界でも高い評価を得ているスイスのリゾート地。町民海外研修では先進事例を見学し、関係者から話を伺います。ここでは、今回訪問する3つの都市を紹介します。

ZERMATT ツェルマット



(写真：Switzerland Tourism / André Meier)

マッターホルンをはじめ、4000m級の山々に囲まれており、特にハイキングが人気の場所です。サンモリッツとは、氷河特急で結ばれています。

ガソリン車禁止リゾート地の一つで、再生可能エネルギーも多く活用するエコなまちです。

新潟県妙高市および山梨県富士河口湖町と姉妹都市を結んでいます。

ダヴォス DAVOS



(写真：Switzerland Tourism / Ivo Scholz)

サンモリッツと同じグラウビュンデン州で、スイスでも特に空気のきれいな場所です。馬車での旅や美術館などでのんびり過ごすことがおすすめです。

また、国際的な会議やイベントが多く開催されるため、ショッピングやレストラン、宿泊施設が充実し、大規模な多目的ホールや会議場もあります。

長野県上田市と姉妹都市を結んでいます。

ZURICH チューリッヒ



(写真：Switzerland Tourism / Jan Geerk)

国際空港があり、スイスのどの都市からもアクセスが良いため、スイスの玄関口といわれる場所です。

チューリッヒ中央駅には、365日営業するバラエティー豊かなショッピングセンターがあります。

旅の拠点として活躍しながら、ローマ時代より栄えていることから、文化施設も多く、中世の建物が並ぶ町の魅力も兼ね備えるスイス最大の都市です。

特集

～祝！サンモリッツ・倶知安 姉妹都市提携60周年～

これからも友好関係が続くことを願って

サンモリッツとの姉妹都市提携60周年を迎えたため、今月号では、今後計画している記念事業の内容や訪問するスイスという国を紹介し、また、両都市の記念品から交流の歩みを紹介します。

サンモリッツとともに祝う

サンモリッツとともに60周年をお祝いするため、7月8日(月)～16日(火)の9日間にわたって、町民海外研修を兼ねた公式訪問団をスイスへ派遣します。サンモリッツには、4日間の滞在を予定しています。

公式訪問団は、町長・議長・町民の16名で構成され、サンモリッツ到着後、市内で市民との交流を図ります。



姉妹都市提携50周年における交流会の様子

サステナブルな国 スイス

スイスってどんな国？

大自然とともに暮らす国で、エコ先進国として知られています。アルプスの美しい自然を守るべく、ガソリン車禁止のリゾート地を制定したり、太陽光などのクリーンエネルギーを活用できる建築に取り組んだり、国としてサステナビリティ（持続可能性）を考えています。

水力発電

国土の7割が山岳で、アルプス地方を中心に滝やダムでの水力発電所が数多くあります。電気は、山を走る鉄道などの電力として古くから活用されています。



(写真：Switzerland Tourism)

スイステナブル

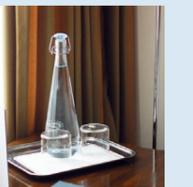
国では、「Swisstainable」を観光業界の共通ブランドとして制定しています。



このマークは、環境に良い取り組みを行っている団体のみが使用を許可されています。

リサイクル

世界トップクラスのリサイクルと廃棄物管理を行っており、多くのホテルでは、ミネラルウォーターなどを使い捨て容器から繰り返し使用できるガラス瓶に切り替え、提供しています。



その他の記念事業

記念事業として、サンモリッツへの公式訪問と記念展示を紹介してきましたが、サンモリッツへ寄贈する記念品の製作や町内小中学校で記念給食の提供も実施します。記念給食では、青少年交流事業でサンモリッツの学生が来町する9月頃、スイスで親しまれている家庭料理が登場予定です。



St. Moritz®



記念品から振り返る友好の軌跡

このページでは、2月号で人との交流を中心に振り返ったサンモリッツとの関係を、今回は、記念品から交流の歩みを振り返ります。また、記念事業についても紹介します。

■木製の盾

2014年5月、サンモリッツのシンボルマークである太陽の金属細工があしらわれた盾が町へ贈られました。町で行われた姉妹都市提携50周年記念式典で、公式訪問団として来町したシギ・アスプリオン市長より受け取り、町からサンモリッツへ、アイヌ文様のタペストリーを製作し、寄贈しました。



■アルプホルン

姉妹都市提携25周年を迎えた1988年7月、サンモリッツより、スイスを代表する楽器であるアルプホルン3本が贈られました。それを受け、町でも7本購入しています。翌年の12月には、町内にアルプホルン演奏グループである「アルプス演奏隊」が結成されました。



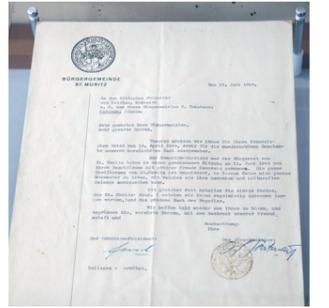
■酒器セット

姉妹都市提携後、22年が経過した1986年6月、初めてサンモリッツからの公式訪問団が来町した際、コラド・ジョバノーリ市長より町へ贈られたものです。市長らは、町内で町民や東小学校の児童たちと交流を楽しみました。



■姉妹都市提携の書簡

1964年6月、倶知安町議会で姉妹都市提携が議決された旨の報告を受け、サンモリッツ議会が町との姉妹都市提携の受け入れ報告をした際の書簡です。ドイツ語で、「倶知安と姉妹都市になれることを全市民はとても喜んでいきます」といった内容が記されています。



Q2. 昔のアルプホルンは、一本の木から作られていました。現在は分割して作られますが、アルプホルンの主流の長さはどれくらいでしょうか？

- ① 50cm ② 1m50cm ③ 3m50cm ④ 10m



Q1. スイスの通貨単位は、スイス・フラン（CHF）で、日本と同じく「硬貨」と「紙幣」がありますが、紙幣で一番大きな金額はいくらでしょうか？

- ① 1,000CHF ② 2,000CHF ③ 5,000CHF ④ 10,000CHF



クイズで
サンモリッツ
を紹介！！

答えは、7ページ下の
枠外にあります。

役場の3階展望テラスでは、6月よりサンモリッツの記念展示を開始します。展示の内容は、在サンモリッツのスズイー通信員から聞いたスイスやサンモリッツの情報を一部、上記のようなクイズ形式で紹介しています。

さらに、サンモリッツのすてきな景色の写真も一緒に展示していますので、サンモリッツの気分を味わいつつ、役場でひと息ついて行きませんか？



倶知安風土館では、10月末頃までサンモリッツの記念展示を行っています。サンモリッツから寄贈を受けた酒器セットやスキー板などの記念品のほか、姉妹都市提携に関わる文書なども展示されており、これまでの友好の軌跡をご覧になれます。

そのほかにも、サンモリッツ市内をドローンなどで撮影した景色やこれまでの交流を収めた写真が見られるサイネージの設置も行っていますので、ぜひお越しください。

